

③ 金町駅の計画案の比較

- 金町駅の旅客ホームの設置案を比較すると下記のとおりであり、①案（8番線旅客化）が保守基地との調整及び約400㎡の民地取得が必要となるものの、常磐線本線部の影響がなく南口駅前広場・JRとの連絡性も良好であり望ましい。

	① 案 (8番線旅客化)	② 案 (6番線旅客化)
工事概要	●上り方引上線を新金線に接続させ、旅客化活用する。 ●旅客ホームを8番線の地下道南口付近に設置する。 ●8番線は新金線旅客列車と、保守線引上等との共用とする。	●8番線を廃止した位置に、上り快速線を移設し、旧快速線と旧着発6番線の位置に旅客ホームと旅客線を整備する。
工事規模及び鉄道施設・運転との整合・課題	●引上線と新金線の接続に民地約400㎡の買収が必要である。 ●駅舎・ホームは南口駅広から階段・エレベータで連絡する。	●快速上り線の移設は運転への影響が大きい。 ●ホーム連絡のための地下道等の整備が必要である。
旅客の利便性	●南口の駅前広場に近く、JR線との連絡性も良い。	●JR・駅広との連絡利便性を良くするために、地下道の新設が必要となる。
評価	●引上線～貨物線接続のための用地買収が必要だが、その他の工事は比較的容易である。 ●JRとの乗換や、駅前広場との連絡性も良好である。 ●8番線は保守基地の通路線等としても使用しているため、運行にあたっての調整を要する。	●上り快速線の移設や新たな地下道の建設など、JR施設への影響が大きい。 ●JR乗換や広場との利便性を図るため、地下道の新設が必要である。